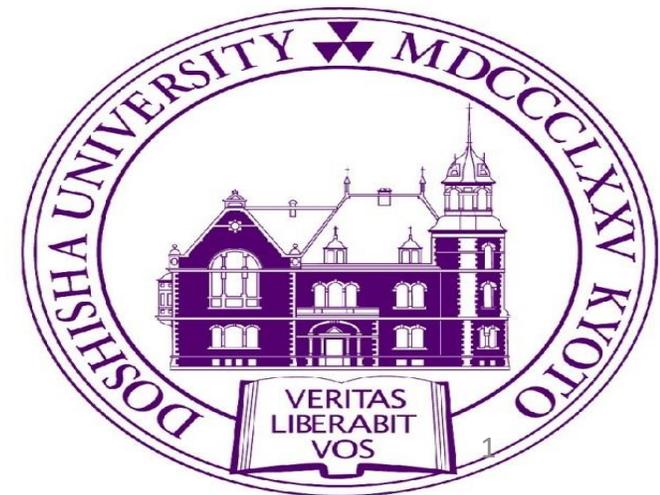


「学童保育の場を用いた子どもに対する運動機会の提供」 ～運動に対する意識改革～

同志社大学 スポーツ健康科学部 庄子ゼミ C班

宇都宮和希 釜江玲奈 酒井大志 中野義暉



目次

- 現状（緒言）
- 政策提言
- 現地調査（インタビュー）
- 提言の課題・解決策
- まとめ

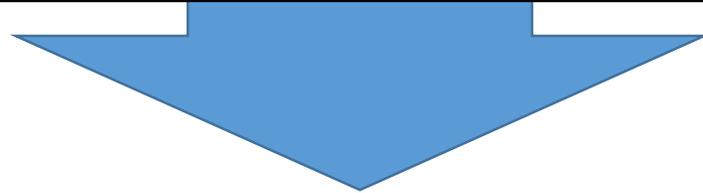


現状① ～スポーツ実施率の低迷～

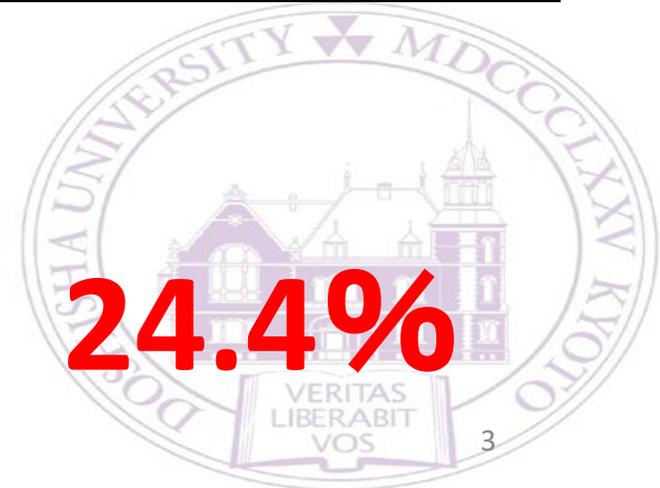
スポーツ基本計画

成人の週1回以上のスポーツ実施率が3人に2人
(65%)、週3回以上のスポーツ実施率が3人に1人

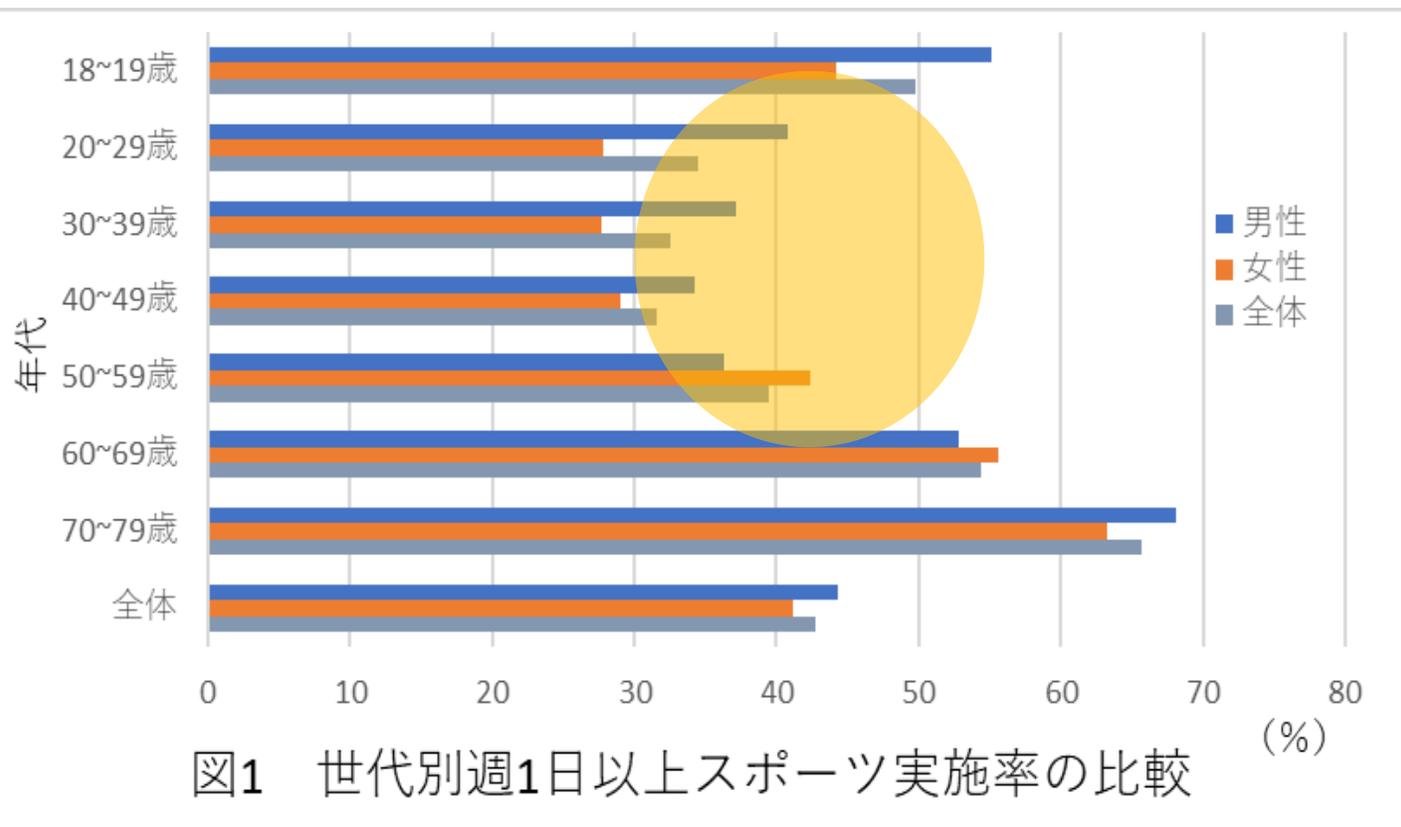
目標には届いていない



現在は、週1回以上 **47.5%** 週3回以上 **24.4%**



現状② ～スポーツをしない世代～



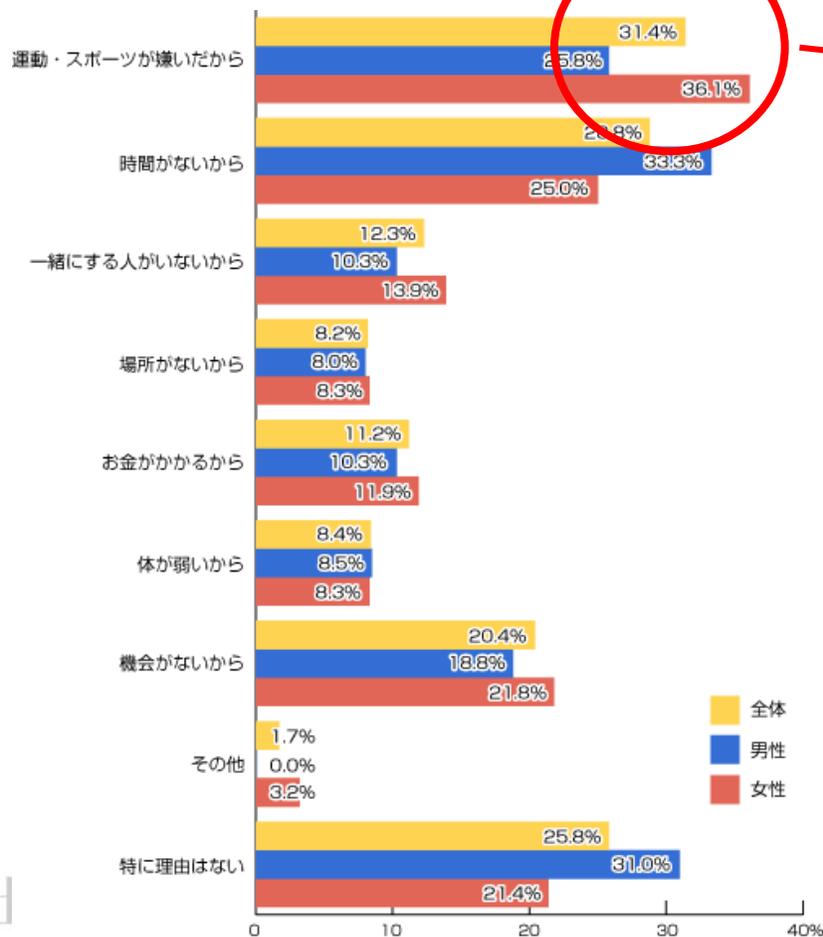
学校を卒業すると、
スポーツを行わなくなる。



(出典)スポーツ庁「スポーツの実施状況等に関する世論調査(平成28年度)」から作成

現状③ ～なぜスポーツをしないのか～

スポーツ非習慣層がスポーツをしない理由

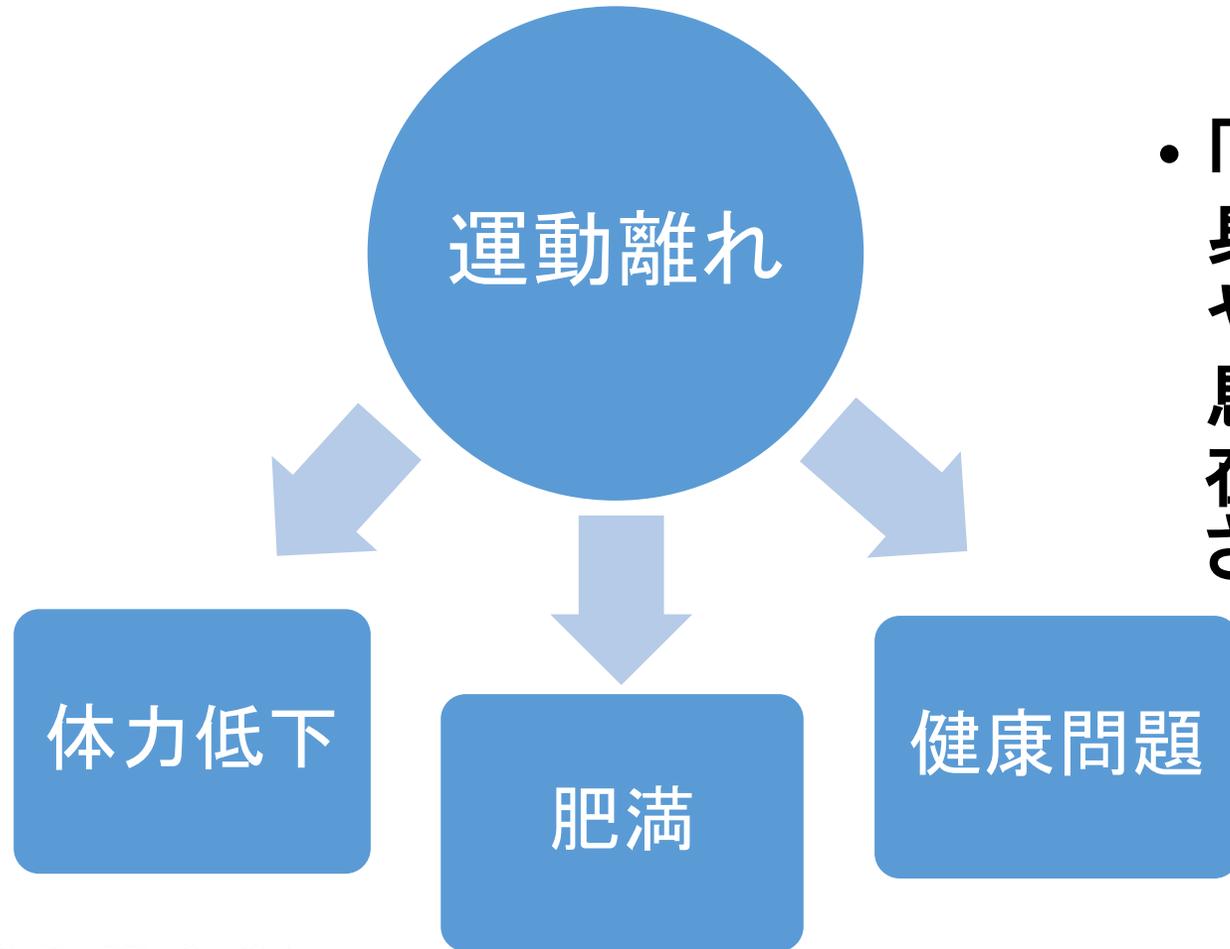


スポーツが嫌いだから
(全体の約30%)

出典:リサーチバンク スポーツに関する調査
http://research.lifemedia.jp/2014/11/141112_sports.html



現状④ ～子どもの運動離れ～



- ・「昨今では生活習慣の変化に伴い、身体活動量や**体力の低下**、**肥満**ややせ、骨の脆弱化、アレルギー（喘息）などの子どもの**健康問題**が顕在化し、「生きる力」の低下が懸念されている。」

（健康づくりのための運動の科学より）



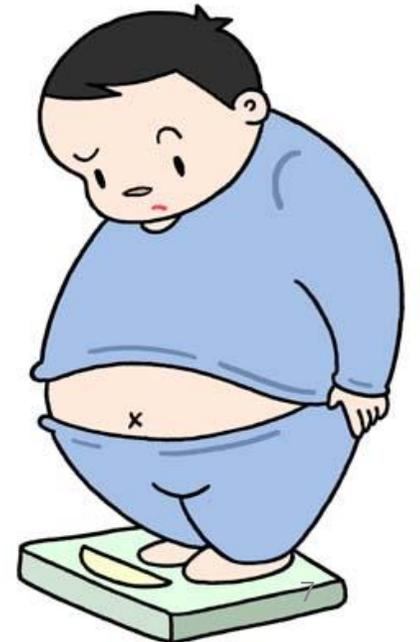
現状④ ～子どもの運動離れ～

体力低下

- 体力・運動能力調査では全年代において**長期的に低下の一途をたどっている。**

肥満

- 肥満小児は増加し続け、**現在では30年前の2～3倍、およそ10人に1人の子どもが肥満傾向**であるとされている。



現状④ ～子どもの運動離れ～

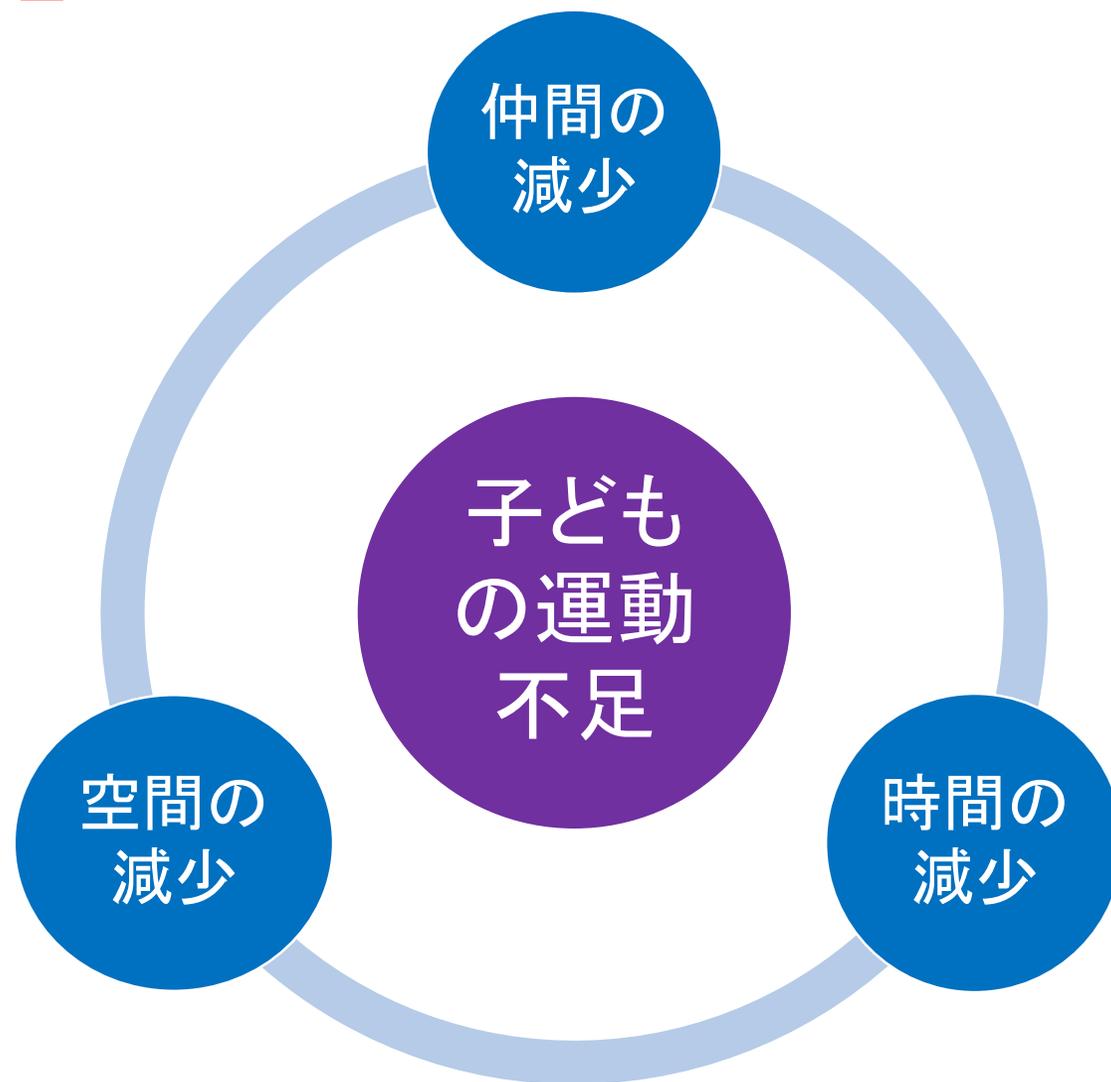
健康問題

- ・近年、**喘息**や**アレルギー**などを有する子どもが増加している。また、低体力化とも関わって**骨脆弱性**も問題となっている。



子どもの運動不足の原因

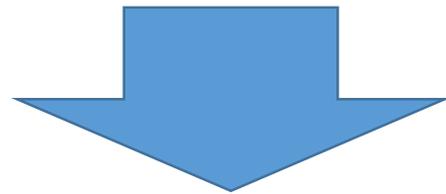
「3間の減少」



現状まとめ

- ① 学校を卒業するとスポーツを行わなくなる
- ② 運動・スポーツが嫌いな人は多い
- ③ 子どもの運動離れ

これらの根本的な原因は何か



人々のスポーツに対する意識に問題があるのでは

スポーツに対する意識の問題

- ・体育や部活動により受動的にスポーツを行ってきた。
⇒ 自発的に運動・スポーツを行うという意識が低い
- ・部活動などでは競技性が求められる。
⇒ スポーツは「楽しむ」ものではなく「競い勝ち残るもの」であるという意識からスポーツ嫌いにつながる



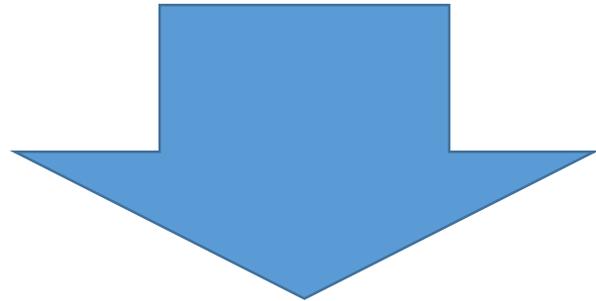
要するに……

日本人には、スポーツや運動を「自発的」
に「楽しむ」という精神が欠けている！！



そこで

体育や部活動とは違うアプローチの運動機会提供



国民のスポーツに対する意識を変える



政策提言

「学童保育を用いたスポーツ活動(学スポ)の普及」

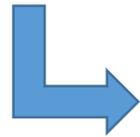


学童保育とは...？

- 学童保育とは日中保護者がいない小学生児童に対して、授業後に遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る事業の通称。
- 「共働き・一人親の小学生の放課後（土曜日、春・夏・冬休み等の学校休業中は一日）の生活を継続的に保障することを通して、親の仕事と子育ての両立支援を保障すること。」

学童保育における指導員

- 学童保育には「放課後児童支援員」が必要。

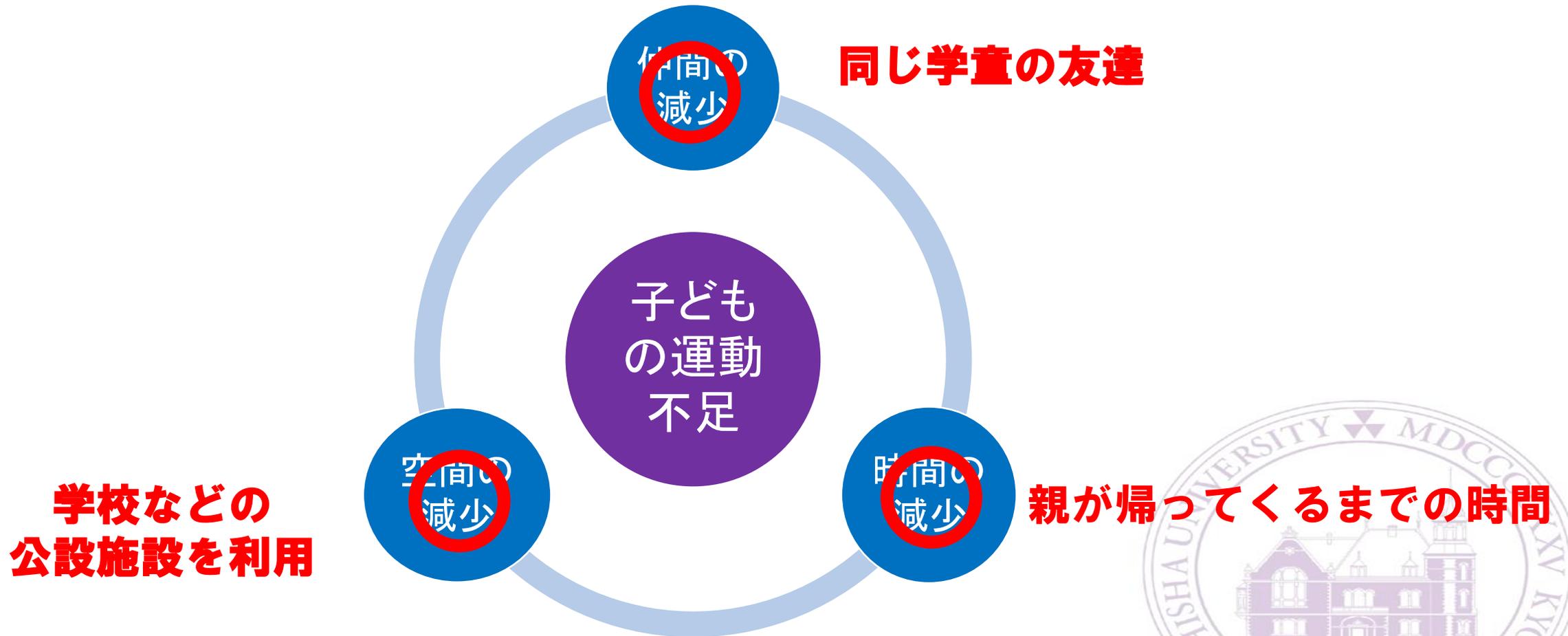


保育士や社会福祉士の資格も持っている者が研修を受ける必要がある。

学童保育にはこの「放課後児童支援員」を2人以上配置することが義務となっている。

学スポの強み

「3間の確保」



部活動以外の
アプローチ

3間の確保

学童保育



現地調査

現地調査

～AS.ラランジャ学研都市アカデミー～

AS.ラランジャ学研都市アカデミー

- ・京都を拠点とするサッカークラブチーム
- ・平日週4日サッカー教室を開催
- ・幼児～小学2年生、小学3年生～小学6年生、U15が対象
- ・コンセプト:「**楽しみながら上手くなる**」



調査結果及び得られた知見

1. スポーツを行う上で必要となる基礎的な運動能力を身に着けるために、様々な遊びを取り入れ児童の特徴に合わせた指導を行っていた。

⇒スポーツ以外にも「遊び」を取り入れる

2. 児童の参加意欲は、指導員の能力に依存する。

⇒指導員が確保できる体制を整える



A young boy in a blue school uniform is captured in the middle of kicking a soccer ball on a lush green field. He is wearing a blue short-sleeved polo shirt and dark blue trousers. His right leg is extended forward, and his left leg is bent. A soccer ball is on the ground near his right foot. The background is a bright, out-of-focus green field. A dark horizontal bar is overlaid across the middle of the image, containing the title text.

学スポの活動内容

「学スポ活動理念」

ミッション

子どもの運動に対する意識を変え、将来のスポーツ実施率の向上に貢献する

学スポ3理念

自主性

多種目

楽しむ

1日の流れ

前半(1部) 「楽しむ」

「遊び・レクリエーション」
「バルシューレ」

- ・楽しみながら基礎的な運動能力を身に着ける

後半(2部) 「多種目・自主性」

「スポーツ」

- ・いろいろなスポーツの楽しさを知る
- ・自分に合ったスポーツを発見

☞ スポーツリーダー(後述)が活動の中心

バルシューレとは？



バルシューレの運動プログラムは、バレーボール、サッカー、テニスといった**すべてのボールゲームに共通する基本要素を身につけることができるよう工夫されており、さまざまなボールゲームの基礎技能がオールラウンドに習得できるように**つくられている。

出典：特定非営利活動法人 Ballschule Japan
<http://ballschule-japan.com/what/>

球技に対する苦手意識の改善

1日の流れ

前半(1部) 「楽しむ」

「遊び・レクリエーション」
「バルシューレ」

- ・楽しみながら基礎的な運動能力を身に着ける

後半(2部) 「多種目・自主性」

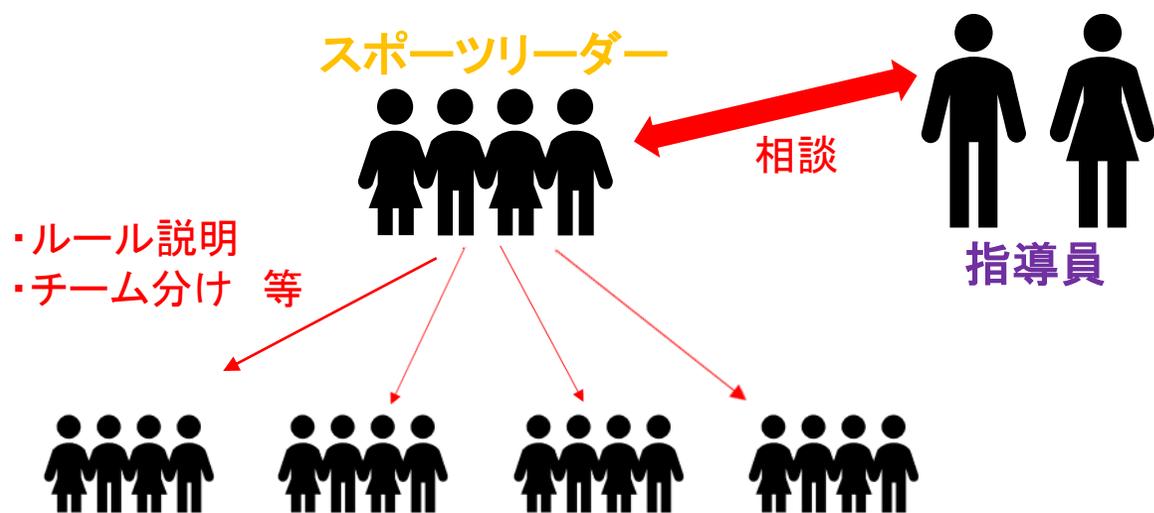
「スポーツ」

- ・いろいろなスポーツの楽しさを知る
- ・自分に合ったスポーツを発見

☞ スポーツリーダー (後述) が活動の中心

「スポーツリーダー」

指導員と相談しながら実施する種目の決定・ルール設定・チーム分け等含めた**プログラムを作成する**
3年生以上の児童が担当



安全かな？
みんなが楽しめる配慮ができているかな？

主体的にスポーツに取り組む意識を育む！！

1日の流れ

前半(1部) 「楽しむ」

「遊び・レクリエーション」
「バルシューレ」

- ・楽しみながら基礎的な運動能力を身に着ける

後半(2部) 「多種目・自主性」

「スポーツ」

- ・いろいろなスポーツの楽しさを知る
- ・自分に合ったスポーツを発見

☞ スポーツリーダー(後述)が活動の中心

A young boy with dark hair, wearing a blue short-sleeved polo shirt and blue jeans, is captured in the middle of kicking a soccer ball on a lush green grassy field. He is wearing yellow and red sneakers. His arms are outstretched for balance as he focuses on the ball. The background is a soft-focus green field with a blurred figure of another person in the distance.

学スポを実施するために

学スポを実施するうえでの課題とは？

指導者の確保

- ・放課後児童支援員の活用
- ・外部指導者の活用



解決策1 「放課後児童支援員の活用」

- 学童保育には「放課後児童支援員」が必要。



保育士や社会福祉士の資格も持っている者が研修を受ける必要がある。

学童保育にはこの「放課後児童支援員」を2人以上配置することが義務となっている。

しかし...



解決策1 放課後児童支援員の活用

研修の中に児童の遊びに関する科目は...

24時

運動

**放課後児童支援員に対する
教育が必要！！**

存在しない！



学スポ科目 (90分 × 2コマ)

「学スポについて」

- 学スポの活動理念

放課後児童支援員を
指導者として育成する

「児童に対する
運動指導」

- バルシューレについて
- 児童に対する指導のポイント

- ・放課後児童支援員の活用
- ・外部指導者の活用



解決策2 「外部指導者の活用」

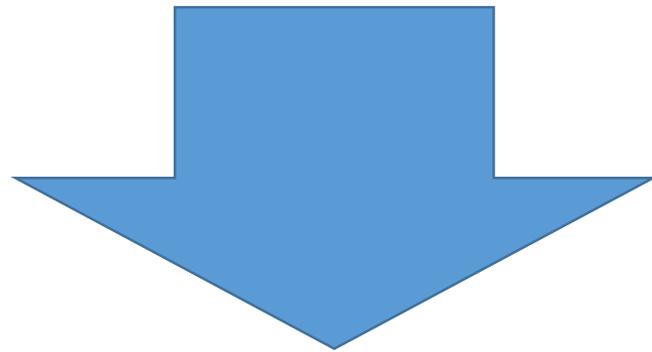
より質の高い運動指導

放課後児童支援員のフォローアップ



解決策2 「外部指導者の活用」

指導者を登録・紹介する**中間組織**が必要



全国学童スポーツ連盟（学スポ連）
の発足！！



所管 スポーツ庁・健康スポーツ課

全国学童スポーツ連盟

地域・指導内容・連絡
先等を登録

ネット上で指導者
の情報を公開

指導者



依頼

学童保育



外部指導者の例1

「スポーツ推進委員」

スポーツの推進事業の実施に係る
連絡調整並びに住民に対する、
スポーツの実技の指導及び助言
を行う非常勤の公務員



外部指導者の例2

「Jリーグのクラブ」

Jリーグ規約

「Jクラブはそれぞれのホームタウンにおいて、地域社会と一体となったクラブづくり（社会貢献活動を含む）を行い、サッカーをはじめとするスポーツの普及および振興に努めなければならない。」

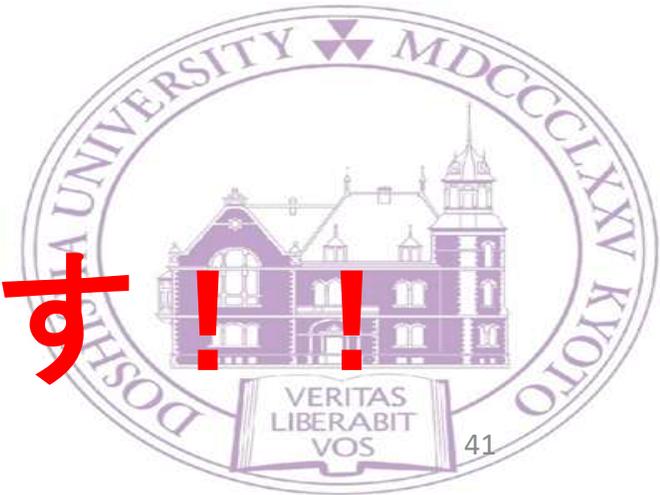
ホームタウン活動の一環として

指導者の確保

①放課後児童支援員認定資格研修の改正

②全国学童スポーツ連盟の発足

まずこれらの実施を目指す！！



A young boy with dark hair, wearing a blue short-sleeved polo shirt and blue jeans, is captured in the middle of kicking a soccer ball on a lush green grassy field. He is wearing colorful sneakers. His arms are outstretched for balance. A black rectangular box with white text is overlaid on the center of the image.

期待される効果は？

期待される効果

基礎的な
運動能力

スポーツに対する
苦手意識改善

スポーツ実施率向上
につながる

スポーツ
輪の拡大

な意識

身についた
スポーツ

定期的な
スポーツ習慣

学スポでもっと多くの人に
スポーツの楽しさを！

参考文献

- Ballschule Japan 「バルシューレとは」
<http://ballschule-japan.com/what/>
- JリーグHP 「ホームタウン活動」 <https://www.jleague.jp/aboutj/hometown/> 2017/10/10アクセス
- 鷗木秀夫編・富樫健二ほか 「健康づくりのための運動の科学」 化学同人 2015 p.80、82、85
- 厚生労働省 「学童保育の目的・役割がしっかりと果たせる制度の確立を」2009 p.1
http://www.mhlw.go.jp/shingi/2009/07/dl/s0728-8b_0001.pdf
- 厚生労働省 「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」2016
<http://law.e-gov.go.jp/htmldata/H26/H26F19001000063.html>
- 文部科学省 「子供の体力の低下の原因」
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/gijiroku/attach/1344534.htm
- 文部科学省 「スポーツ基本計画」2012 p.15
http://www.mext.go.jp/component/a_menu/sports/detail/_icsFiles/afieldfile/2012/04/02/1319359_3_1.pdf
- 全国学童保育連絡協議会 「学童保育(放課後児童クラブ)の実施状況調査結果について」 2017/9/20
修正版 <http://www2s.biglobe.ne.jp/Gakudou/pressrelease20170920.pdf>





ご清聴ありがとうございました